

3. 健全化判断比率

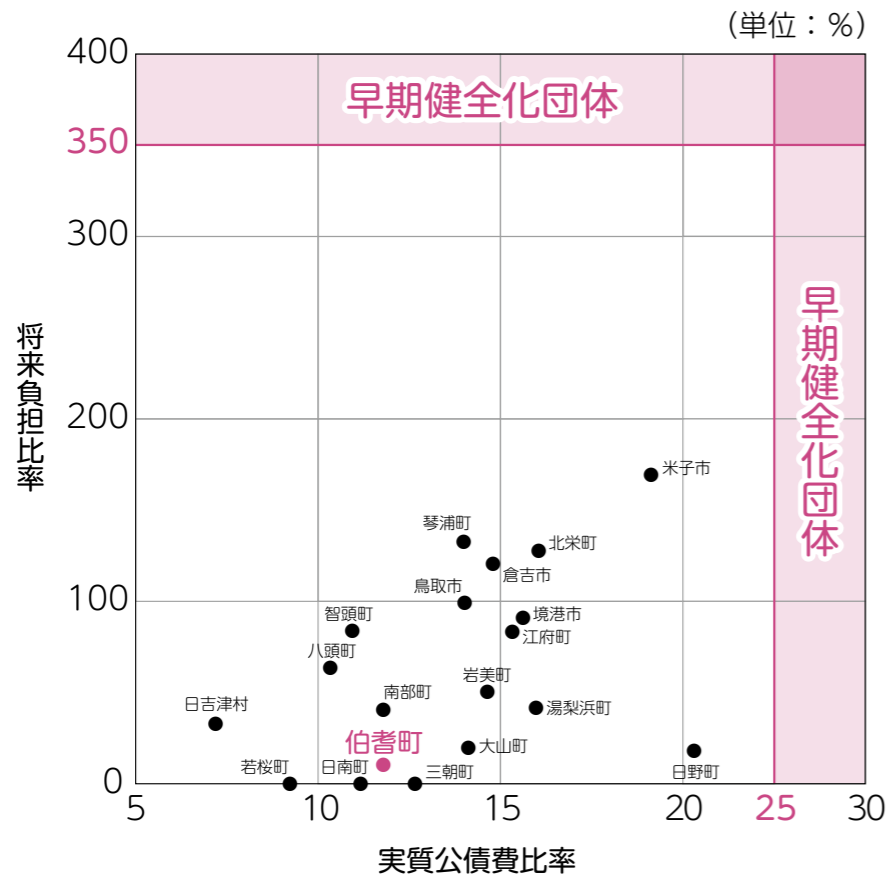
地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく、平成25年度決算に係る健全化判断比率の算定結果をお知らせします。

各比率は地方公共団体の財政の健全性を表しており、伯耆町はいずれの比率も健全段階に位置しています。特に将来負担比率は、前年度に比べて16.9ポイントの減少となり、遅くとも2年後には将来負担比率が0になりそうです。

※「実質赤字比率」と「連結実質赤字比率」の比率欄「-」は、それぞれ実質赤字が生じていないことを表しています。

比率区分	説明	伯耆町の比率		早期健全化基準	財政再生基準
		25年度	24年度		
実質赤字比率	一般会計などの実質赤字額の、標準財政規模(人口、面積などから算定する当該団体の標準的な一般財源の規模)に対する比率	-	-	15.0	20.0
連結実質赤字比率	町全体での実質赤字額(または資金不足額)の、標準財政規模に対する比率	-	-	20.0	40.0
実質公債費比率	町全体の公債費などの、標準財政規模に対する比率(18%を超えると借金するために許可が必要となる) 【過去3ヶ年平均】	11.9	13.2	25.0	35.0
将来負担比率	一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の、標準財政規模に対する比率	21.5	38.4	350.0	

(単位:%)

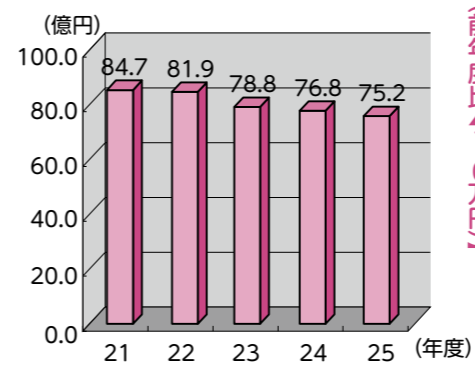


このグラフは、鳥取県全市町村の「実質公債費比率」と「将来負担比率」の状況を表したものです。財政の健全化が進むとグラフの左下へ、悪化状態になると右上に位置します。

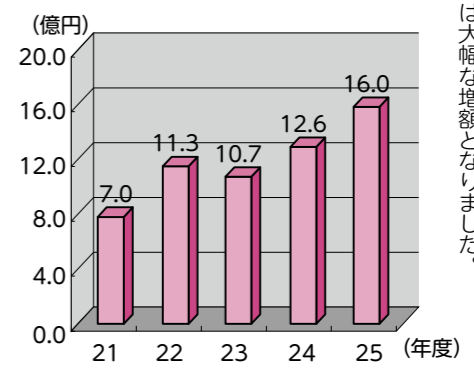
県内における伯耆町の順位は、(良い)ほうから実質公債費比率【6位】、将来負担比率【4位】と、いずれも県内市町村の平均を上回る結果となりました。

平成25年度県内市町村の状況

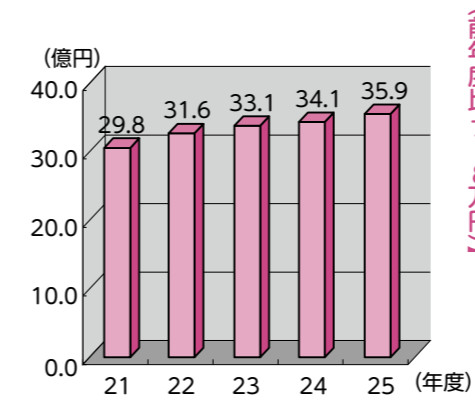
【問い合わせ先】総務課 ☎68-3111



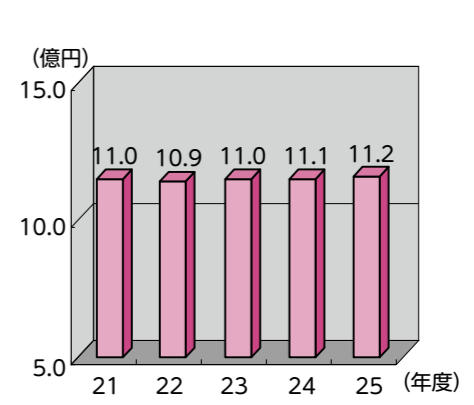
地方債(借金)残高の推移
借入金抑制や、繰上返済(約2億5千万円)などによって減少しました。
〔町民1人あたり66.0万円〕
〔前年度比▲1.0万円〕



建設事業費の推移
〔町民の森整備事業をはじめ、国の経済対策交付金を活用した事業、学校耐震化事業、紙おむつペレットボイラー施設整備などの実施により、建設事業は大幅な増額となりました。〕



基金(貯金)残高の推移
将来の財政負担に備え、財政調整基金・減債基金への積立(約2億円)などによって増加しました。
〔町民1人あたり31.5万円〕
〔前年度比▲1.8万円〕



人件費の推移
職員給料カットの継続実施などにより、ほぼ横ばいとなっています。

2. 特別会計

町が特定の事業を行う場合に一般会計とは区分して経理するために設けている会計です。特別会計は、保険料や料金収入などによる独立採算を原則としますが、会計によっては一定のルールなどに基づいて一般会計が負担(繰出)を行っています。平成25年度の特別会計の決算状況は、地域交通特別会計において、バス・特殊車両を購入。索道事業特別会計では施設修繕料の増加により、決算額が増額となっています。一方で、小規模集合排水事業(H24 整備完了)、国民健康保険特別会計(被保険者数の減少など)、簡易水道事業特別会計(公債費の減)において決算額(歳出)が減額となり、全体では、前年度に比べ約1,066万円の減少となりました。

会計名	歳入	歳出	差引
町営公園墓地事業特別会計	492	77	415
住宅新築資金等貸付事業特別会計	173	3,092	△2,919
地域交通特別会計	11,770	11,770	0
国民健康保険特別会計	129,532	126,317	3,215
後期高齢者医療特別会計	12,274	12,257	17
簡易水道事業特別会計	26,177	26,450	△273
丸山地区専用水道事業特別会計	990	990	0
小野地区専用水道事業特別会計	1,584	1,584	0
農業集落排水事業特別会計	28,330	28,330	0
小規模集合排水事業特別事業	4,728	4,728	0
公共下水道事業特別会計	18,207	18,207	0
浄化槽整備事業特別会計	1,869	1,869	0
索道事業特別会計	2,227	3,038	△811
合計	238,353	238,709	△356

(単位:万円)

伯耆町水道事業会計(企業会計)	決算額
収益的収入	7,412
収益的支出	12,792
資本的収入	322
資本的支出	1,877

(単位:万円)